

旭川合唱連盟創立 70 周年 おめでとうございます。

本来ならお伺いして、ご挨拶させて頂くところですが、このところの急激な感染の拡大を鑑み、今回は予約していた乗車券等をキャンセルし、出席を自粛させて頂きました。大変申し訳ありません。一時は治まりを見せていたコロナ感染ですが、年末年始、そして成人式を含む連休などにより感染が異常なまでに増えてきました。ただ、札幌市内での感染者が一日 60 人程度の時はなんとかお伺いするつもりでおりましたが、1 週間後で 6 倍の 360 人を超えさらに 19 日時点で札幌では 600 人台、北海道で 1, 000 人を超す勢いとなりました、この状態での移動は難しく今回の欠席の決断となりました。

合唱活動はコロナ禍で真っ先にやり玉に挙げられた活動です。円陣を組んで声でかけ声を出してもいいのに、正面を向いて校歌を歌わなければ感染対策をしている証明になるような立場にされてしまいました。さらに追い打ちをかけるようにオミクロン株による第 6 波に見舞われて、今後は合唱活動のいっそうの困難が懸念されています。全国的にみても中学校で 5 割、高校で 4 割程度の人数減が報告されています。

しかしながら、この様なときにこそ手を携えて、北海道の合唱連盟が協力し合わなければならぬと感じています。連絡を密にして情報を共有し合い（もちろんそれだけで解決するわけではありませんが）持ちこたえていかななくてはなりません。

今後、旭川合唱連盟が水野理事長を中心に、このコロナを乗り越え発展されえることを願ってやみません。

全日本合唱連盟北海道支部長 大木 秀一